

# えでぴあ

【連載】国立極地研究所  
憧れの南極を身近に

12

立川と語ろう 立川に生きよう  
December 2009  
écoutez bien Vol.28 No.301

応援します! 《極地研》

表紙の人: 中島高洋子(若菜町)  
写真: 細江英公

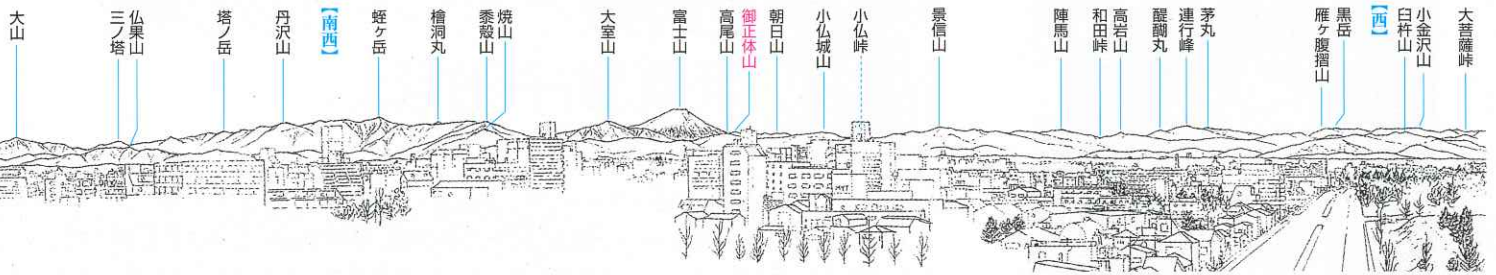




# 御正体山

(みしょうたいやま) 1,682m

案内人：守屋龍男  
山岳展望図：藤本一美

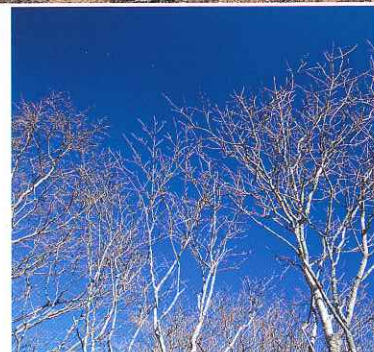


多摩モノレール 立川北-高松間より

## 皇太子殿下も登った「修験の山」

### 【御正体山へのコース】

富士急都留駅まで電車や車で約1時間30分。  
都留駅→バス30分→三輪神社横の登山口→30分→  
林道終点→2時間30分→峰宮跡→30分→御正体山→  
2時間30分→山伏峠→1時間→平野バス停（歩行時間  
約7時間）



富士山の少し前に聳えている丸い形の山で、中央線の多摩川鉄橋付近からは高尾山の左側、モノレール高松駅あたりからだと右側にちらっと見える。かつては修験道の山として都留や道志、相模から多くの修行者が登ったという。

12月に入って間もなく、立川に拠点をおく山の会、山守会のメンバーとともに登った。富士急都留駅からタクシーで三輪神社横の登山口へ。しばらく林道を歩く。一面凍てついた路肩にシモバシラだろうか、枯れ茎に氷が花のように結晶している。尾根道に取り付き、林道の延長工事のため何回か迂回を繰り返しながら登る。やがて急坂の連続になり、冬の冷気のなかというのに全員汗まみれになる。

3箇所ほど、ロープを張ってある所を過ぎるとようやく峰宮跡と呼ばれる山頂の一角に着いた。ここから小さな祠が立っている峰神社を経て一旦下り、抱き付き岩という大岩の間を登り切ると、ほどなく山頂だ。

山頂は広く、ブナなどの広葉樹とハリモミなどの針葉樹が混ざった混交林で、山の持つ本来の自然環境が保たれている。展望はあまりよくないが、それでも樹木の枝越しに富士山が大きく見える。平成16年に登られた皇太子殿下登頂記念の看板が一等三角点のわきに立てられていた。暖かい日だまりの中、ゆっくりと昼食と休憩を取る。

下山は南側に長々と連なる尾根コースを下る。美しい自然林が随所に残る斜面を下り、登り返して三つほどのピークを踏んで山伏峠に出た。

途中、奥ノ岳のピーク付近の送電鉄塔からは白雪に包まれた神々しいまでに輝く富士山や遠く白銀色に光る南アルプスの連山が見えた。





■ 伊東章子  
都立国立高校 保健体育科教諭。チアリーディング部顧問。東京女子体育大学卒業。

立川と  
語ろう

## 国立高校 チアリーディング部顧問 伊東章子教諭

2009年8月 都立国立高校チアリーディング部が〈2009 ジャパンカップ チアリーディング日本選手権大会〉で4位になった。創部してわずか7年。伊東教諭の育休を差し引くとたった6年で全国を相手に戦うチームへと成長した。どこにその秘訣があるのか。伊東教諭を訪ねた。

### ■ 都立国立高校

私が赴任した年にチアリーディング部を創部しました。4月に着任してその年度末に同好会を発足。実質はその次の年から本格的にスタートですから、今のチームは6年目のチームです。歴史は浅い。有名になったのはここ最近です。都立高校では国際高校や雪谷高校が有名です。国際高校は帰国子女が多く学校自体がチ

文武両道っていうやつです(笑)。持っている集中力というか、目の前のものを一生懸命やる能力というか、優れている子が多いんです。

### ■ 2009 ジャパンカップ チアリーディング日本選手権大会

国高は準決勝では9位でした。8位までが決勝に進めます。9位でしたから、本来は決勝に出られない。ところが決勝戦当日の朝、「イ

# ジャパンカップへ、Ready! Go!

ア向き。活発で元気があって自分の意見をきちんとと言える子が多いし、雪谷高校ではスポーツ推薦でチア推薦を実施しています。国高の場合は、経験者は1人もいない。入部してきたときは全く普通の子です。

でも国高の場合、集中力は違うと思います。物事にまじめに取り組む子が多い。3年生は夏まで文化祭の準備です。国高祭も有名ですから。夏まではそこに関わって、その後モードを切り替えて受験にみんなで突入する。そういう雰囲気、そもそもこの進学実績を維持しているのだと思います。授業はきちんとやる。どんなに疲れていても、授業に必要な予習復習だけはやっておく。その3年間の積み重ね。例えばうちの部活だと3年の8月まで全国大会がありますから、それまで引退しません。部活をやしつつ、勉強や文化祭と両立させていきます。それが終わった夏の終わりに、ポンとモードを切り替える。甲子園もそうじゃないですか? 野球を頑張っていて、そのあと東大に入った人も過去にはいましたよね。

ンフルエンザで決勝を辞退したチームが出たので決勝に出ていただけますか?と協会から電話がかかってきたんです。「喜んで!」っていうことで。そこから部員に電話をかけました。「今から行くよ!」「ユニフォーム持ってきてね!」って(笑)。慌てて準備して、急いで行って、会場へ入場して。そしてあの決勝の演技でした。結果4位ですから、実力もあったのかもしれないけれど、本当にラッキーでした。

あの演技の構成は私が作りました。目指したのは、きれいで楽しくて、これぞチアっていう演技。観客を沸かせる演技です。難易度の高いことをやったら、そりゃ観客は沸きます。けれど、私はチアリーディング本来の〈みんなに楽しんでもらえる〉〈自分たちも楽しめる〉演技を作ったので、難易度はひとつレベルを下げて、でもきれいにやろうっていう指導をしてきました。

観客が喜んでくれた瞬間、それはあの構成が受け入れられた瞬間でした。全くのノー



ミスで、「国高らしい」と言われる演技でしたね。

### ■ 普段の練習

昇降口の階段の前、外でいつも練習しています。落ちたら痛いですが(笑)。でも、下までドンと落ちてしまうような危険な落ち方はしちゃいけないし、そういう演技を入れてはいけないと思います。正しい知識を持って、きちんとした指導者のもとでやればそんなに危険なことではない。自分自身の経験から言っても、もちろんケガはありましたけれど、そんなに心配しなくても大丈夫です。ご両親の心配される気持ちはよくわかります。ですから保護者の方には安全管理について説明していますし、危険のないように練習上のルールを決めています。

部員数は引退した3年生も入れると29人。新チームは18人です。試合は8人以上16

名以下で構成します。8名以上と言いますが、やはり16名で出た方がいい。私立高校のチームだったりすると部員が多くて、3年間で1回大会にでられるかどうかという話も聞きますから、ちょうどいい人数かもしれない。でも国立高校の場合は入学するまでに大変なので、チアの人材を集めるのは苦労します。チームに入部したくても入学できない。中学生や小学生に「入りたいです〜」って言われると、「頑張って勉強してね!」って言います(笑)。国立高校には残念ながらスポーツ推薦はありません。あったらいいなと思うこともありますが……。

### ■ チアリーディングは表現スポーツ

笑顔の練習をしています。笑顔のパターンを増やすよう、家に帰って鏡を見て練習させています。表現スポーツなので、常に笑顔で、自分の意見を話せないとつまづくときが来るかもしれません。チアリーダーですから、他の人を

引っ張っていきける人。礼儀正しくて、笑顔で、元気のある人。まずは挨拶からです。入部してきた子に最初に言うことは、挨拶。普通の挨拶はだれにでもできます。私たちは笑顔で、自分の方から挨拶する。始めてみると、笑うことも筋トレもこんなに大変だったのだから、生徒たちは思うみたいです(笑)。

チアリーディングの魅力。チアは楽しいんです。面白いし。達成感ももちろんあります。またお客さん

ら損すると思うんです。何でもいい。部活でもいいし、たとえば文化祭でも。なんでもいいけれど、私はこれを3年間かけて本気でやりましたっていうのが必要で、

私はそれがチアであってほしいと生徒に言っています。



との一体感、それが大きいかもしれないです。もうひとつの魅力は仲間との信頼関係でしょうか。

2分30秒の演技のために、みんなで何時間も何時間も練習する。信頼関係がないと投げた人をとれないし。信頼関係がないと飛べないし。ベースを信じてトップは飛んでくれるわけですから、信頼関係が大事になってきます。

高校3年間なんて一生のうちほんのちよっとです。その時に本気になれるものがなかった

そのチアを通して仲間もできるだろうし、私ともたぶん一生の付き合いをするだろうし。いろいろなものを得ることができるから、本気で取り組んでほしいです。





# 憧れの南極を身近に

## 民間から採用される設営隊



北島隆児(越冬 調理)

佐賀県出身。高校卒業後、料理の道へ。イタリアンレストランで48次越冬調理隊員だったシェフと知り合い、観測隊調理隊員の存在を知り、51次隊に応募。公募での採用となる。



南極観測



柏木隆宏(夏隊 環境保全)

北海道出身。趣味でスキー、マラソン、登山をしていたが、以前より南極への憧れがあった。写真家でビデオジャーナリストの阿部幹雄氏(49次夏隊、50次夏隊、51次夏隊隊員)の講演がきっかけで公募にチャレンジ。採用となった。

### 11月24日 いよいよ憧れの南極へ

**司会** 桑原さんは3回目の南極です。以前の働きぶりがすばらしくて、極地研側からも是非来て欲しいということだったとか。メーカーから来ている方で3回目というのも珍しいそうですが、3回目ということで、何か思う事は?

**桑原** 2回目の時はやり残した感があったんですが、その時点では自分はこれが最後だと思っていたんです。でもまた行けることになって、せっかく頂いたチャンスなので、今回はやりきったなと思えるようにして帰ってきたいです。

**司会** 南極に行くには、求められる職種によって免許が必要なこともあります。免許なくてもスキルが必要ですね。例えば越冬生活で求められる人間の資質とかって、桑原さん、何だと思いますか?

**桑原** う〜ん、許容じゃないですかね。(笑)

**司会** なるほど(笑)。一方、柏木さんは公募と聞いていますが、

**柏木** 海外に興味がありまして、趣味で登山もしていてネパールのヒマラヤも行きました。南極にも憧れていました。夢のまた夢だと思っていましたら、阿部幹雄さんがご自身の講演会の中で、『北海道に住んでいるのであれば、寒いところの生活という点ではひとつクリアできているし、挑戦してみれば』とおっしゃったんです。それで、合格する自信は全くありませんでしたが、応募してみました。

**司会** 夢がかなったわけですね!

**柏木** そうです。私には桑原主任みたいに何回目っていうことはないで、このチャンスがすごく幸せで、ここ(極地研)にいる間は何をやっていても楽しいです。掃除していても楽しい!

**司会** すばらしい! お子さんが生まれたばかりだとか?

**柏木** そうです。妻の理解があって、今日ここにいます。

**司会** そんなに好きなら、また行きたくありませんか?

**柏木** はい。もう、また行きたいです!

**山中** まだ行ってないで。(一同爆笑)

**司会** 船(しらせ)はみなさん平気なんですか?

(一同、首を振ったり、周りを見る)

**司会** 桑原さん、どうですか?

**桑原** いやあ、だめですね〜。

**司会** 経験者の桑原さんも苦手。みなさん、初めてで怖くないんですか?

**北島** かなり不安はありますよ。でもしょうがない。

**山中** しょうがないよ。乗らないと行かれないんだから。(笑)

**柏木** 酔ったって何だって、しらせに乗れるっていうだけで幸せです。南極が目の前にありますから。(一同笑)

**司会** 専用酔い止めとかないんですか?

**北島** カルピスが効くって話は聞いたけど…。(一同、黙る)

**山中** 効くの? ホントに…。(一同爆笑)

**北島** よけい気持ち悪くなっちゃいそうだよ。

**山中** ホントに効くんなら、薬として普通に売ってますよ。

**柏木** 酔っていても何しても、海に冰山とか見えてきたら感動すると思います。想像しただけで、写真で見ていた南極が見られるなんて、そう思うだけで鳥肌がたってきました!

(一同爆笑)

### みなさんの仕事

**司会** 山中さん。日本では現場にいても、実際には手を出さないですね。観測隊はほとんどが建築に関しては素人なわけで、正直なところ、不安ではないですか?

**山中** いつもよりは気を使わなくちゃいけないですね。でも、一緒にやっているうちに建築ってこういうものなんだってわかってくるんじゃないですか? 極地研の人を前にして失礼かもしれないけれど、建物より人が大事です。ケガをしないで帰ってきてもらうのが一番です。

**司会** 今回は何を造るんですか?

**山中** 電離層観測のための40mのアンテナを建てるのと、自然エネルギー棟の今年は基礎だけを建てます。40mものアンテナ、日本だったら絶対人力では建てないですよ。

**司会** 人力って? 登っていくわけじゃないでしょ?

**山中** 登っていくわけですよ。

**司会** え〜!

**山中** 1つが3mずつの柱を積み上げていって、40mにする。

**司会** それって、だれが登るんですか?

南極地域観測隊は研究者だけの集まりではない。

最近上映された映画「南極料理人」で有名になったように、観測隊には料理人がいる。

医療従事者もいれば、電気の専門家、通信、建築の専門家など、

中には写真家、プロスキーヤー、もちろん報道関係者も。

素顔はいったいどんな人たちなんだろう?

民間から採用された隊員に話をきいた。夢の世界の南極が、少し身近になるかもしれない。

**山中** 隊員! 高いところが大丈夫な隊員!(笑)

**司会** 誰も登れなかったら造れないですよね?

**山中** 先日、仮積みして40mを建ててみたんです。その時も、みんな結構登りましたよ。自分は25mまで行って交代しようとしたら、降りるのが長く感じて。(笑)

**司会** 登ったはいけれど、降りられなくなっちゃいますよね。こわそう〜。

**山中** 40m建てたところで女性隊員が来て、スルスルっと40m登って、上でムービー撮ってましたよ。(笑)

**司会** う〜ん。女性もすごい! 北島さんは公募で採用されたそうですけど、面接の時って何を聞かれるんですか?

**北島** 何を聞かれたかな? もう忘れちゃいましたよ。なにしろ13対1ですから。

(全員爆笑)

**司会** 調理隊員は北島さんと鈴木さんのおふたり。持っていく食材は、その観測隊の調理担当者が決めていいのですか?

**北島** はい。業者さんも決めていいんですが、基本的には費用が決まっているので、それを超えないように。

**司会** ビールなんかどのくらい持っていくんですか?

**北島** 缶で650ケースくらいです。他の飲み物をいれると訳わからなくなります。

**司会** お米はどのくらい?

**北島** 普通の米だけで2.2トン。餅米500キロ。全部で3トンくらいです。

**司会** 今回何か変わった食材を入れたのですか?

**北島** 僕も、鈴木さんもコレがなきゃ作れないというタイプではありませんから、普通の食材です。でもたまにお祭りみたいな時用として、キャビアとかフォアグラとか、牛肉も〇〇牛というブランドものを入れています。

**司会** 柏木さんは環境保全ですが、どんな訓練をしているんですか?

**柏木** 先日汚水処理の訓練に行ってきました。トイレ、風呂、厨房から来た雑廃水を分離して外に流せるようにするんですが、その機械の仕組みと取り扱いの訓練です。私はそういう経験もなかったので、その実験から始めました。とても勉強になりましたし、やればやるほどきれいにしなきゃいけないなと思いました。

**司会** 訓練を通して何か感じていらっしゃることはありますか?

**柏木** 人間生活をしていく上ではゴミは必ず出ます。画期的な機械もありますが、それを持っていけばまたその備品、メンテナンス用品が出ます。建築すればその廃棄物も出るので、なるべくコンパクトにして、南極のゴミを少なくしていきたいと思っています。

**司会** 桑原さんは結構訓練に行ってるようですが…。

**桑原** 機械の中では少ない方ですね。今のところ4つか5つくらいですね。

**司会** どんな訓練をするのですか?

**桑原** 機械班といって越冬だと6人いるのですが、それぞれ分野違いで。発電機だとヤンマーから1人来ていて、でも他の5人は発電機の知識がないのでヤンマーに行ったりとか、いすゞ自動車に行ったりとかして、機械の整備、メンテナンス訓練をしています。

**司会** 専門でなくてもすぐわかっちゃうようになる方たちなんですか?

**桑原** いやあ、そういう部分とそうでない部分がありますね。一口に機械と言っても、電気屋さんにも機械に入ってますからね。電気専門の人はエンジンなどについてはちょっと触ったくらいじゃ覚えられないです。

**司会** 覚えなくてもやらなきゃならないわけですよね?

**桑原** ええ。エキスパートにはなれないけれど、最低限の知識はないと本当の専門家が内陸の方に調査に行ってしまった時、何かあっても対応できないのではまずいんですから。

**司会** 少ない人数で、しかもそれぞれの専門が1人ずつしかいない中で大変ですね。機械の人ってものすごいプレッシャーだと思うんです。例えば発電機止まっちゃったら、どう考えても終わりでしょう。

**桑原** 居住棟の中で一番発電棟に近いところにヤンマー部屋って部屋があって、皆さんの部屋には警報が鳴らないようになってるんですけど、その部屋だけは警報が鳴るんですね。(笑)

**北島** この間ふと思ったんですよ。発電機止まったら寒くて死んじゃうよなって。

**司会** そういう意味ではやっぱりすごいプロたちが来ているんですよ。観測を50年やってきて、大きい事故がないっていうのはやっぱりプロに支えられてきたんですね。



山中義憲(夏隊 建築・土木)

広島県出身。飛鳥建設株式会社 関東建築支店より国立極地研究所に向。15年前に会社から南極観測隊に向した人がいたことから観測隊の存在を知り、毎年会社に希望を出していた。念願がなって初の南極行き。



桑原新二(越冬 機械)

新潟県出身。(株)大原鉄工所(日本で唯一の雪上車メーカー)で雪上車組立整備業務に従事。南極観測隊への参加は51次隊で3回目。45次に続き、今回も設営主任として、観測以外のすべてを取りまとめる。

### 【司会・進行】

熊谷宏靖(夏隊 庶務 極地研広報室)  
清水恵美子(えくてびあん)



冬のこもれ日の中へ

十二月、玉川上水の緑道の木立は葉を落し尽して明るい。

落葉樹のたくましい幹が立ち並び、かつての武蔵野の雑木林をしのばせる。

緑道の脇には畑が多く、私たち俳句初心者集団は、フレームで覆われた畝を覗いたり、無人の野菜売り場で立派な白菜や大根に見とれたりしながら、ぶらぶらと歩を進めていた。

午後になると、畑仕事をしている人も減多に見かけないが、今日はせつせと落葉掻きをしているご夫婦を見かけた。思わず足をとめてみんなで眺めていると、ちよつと手を休めて、

「東京都所有の落葉、畑の肥料に使わせてもらうのよ」と笑った。

無人店の野菜はどれも新鮮で、百円か二百円。吟行の途中でもつい買ってしまふ。荷物になって、いざというとき手帖も開けないのだが、やっぱり誘惑に負けて葱の束なんか買ってしまった。

いつもよりちよつと足を伸ばして、小平の監視所のところで上水の流れに降り、人工の滝の横を

通って反対の岸に上がり、小川橋に向かつて引き返すことにする。

半分くらい来たところで、何やら大勢の人の気配がしてきた。「まあ！ここがうわさの足湯なのね！」

「ええーっ？ほんとですか？」みんなぞろぞろと「こもれびの足湯」の敷地に入った。休日とあって、賑わっている。なんだか忽然と木立の中にあられた楽園という感じ。子どもからお年寄りまで、みなゆるみきった表情だ。

足裏を刺激するぼちぼちのあの道とか、足ならぬ手湯だとか、ひととおり偵察して回っていると、見たような顔がお年寄りに挟まって足湯に浸かっていた。なんとわが会最年少の新鋭だ。

「もう、行くよー」と、声を掛けると、あわてて靴下と靴を履いて追いかけてきた。あー、ジーンズの裾がびっしょり。

「湯冷めしないでね」と、歩き出すと、ふと誰かが訊くと、「足湯って季節なんですか？」温泉も銭湯も含めて、季節ではない。



イラスト 小林木造

石田郷子 俳人。1958年東京生まれ。おもに武蔵野をフィールドに作句。句集に『秋の顔』『木の名前』。俳句雑誌「椋」代表。俳人協会・日本文藝家協会会員。

POST CARD

190-0023

立川市柴崎町 2-1-10 高島ビル 4F

有限会社えくてびあん 読者アンケート 係

◎お礼の品をお送りしますので、ご希望の方はご住所、お名前をご記入ください。 ※記入いただいた個人情報は厳重に管理し、今回の発送のため以外には使用いたしません。

〒ご住所

お名前

「でも葱も大根も白菜も冬の季節

語だからね。それに落葉も」となぐさめておく。 帰り道は、句会を控えてみなんだん真剣な顔になってくる。でも、こんなのんびりした時間のあとに、ちよつぱり緊張感があった、しかもクリエイティブな時間を持つのは、達成感があつていい。わが家に戻って、私のつんつるてんのジーンズを貸し、濡れた方をストープで乾かしながら冬の日はとつぷり暮れるまで句会をした。

新聞の第一面に葱包む

藤井あかり

活躍の場を広げる FMたちかわ



阿佐ヶ谷神明宮の能舞台と三谷K子さん

10月23日と24日、今年で15回目を迎える「阿佐ヶ谷ジャズストリート」が開催された。1995年に12会場で始まったこの企画。区民の手で育てられ、今年は50会場でジャズの音が流れる。その2会場に、実はFMたちかわがお手伝い。1つは阿佐ヶ谷の駅からすぐ北側にある神明宮。この能舞台が新築になって、そのこけら落とし公演もかねて山下洋輔with米田裕也スペシャルデュオ！こけら落としにふさわしく、奉納演奏の「越天楽」から。この会場の司会をしたのが、FMたちかわのマドンナ、三谷K子さん。立川人には馴染みの美しい声がかかり火の幻想的な神社に響いていた。

もう1つは阿佐ヶ谷地域区民センターで行われたI・MA・TOのコンサート。すばらしい演奏の音響を担当したのがFMたちかわ。フラメンコギターが奏でるラテン音楽。透き通った音色に、観客はすっかり魅了されていた。

街の話題

立川防災航空祭

10月25日、雨の中、陸上自衛隊立川駐屯地で立川防災航空祭が行われた。悪天候のため、白バイ走行展示や編隊飛行上空通過、空挺効果展示などは中止。縮小された実施だったが、それでもカメラを持った観客が、展示されているヘリコプターや飛行機などを撮影している姿が多く見られた。立ち並ぶ出店も楽しく、冷たい雨でも子どもたちは大喜びだった。

立川駐屯地は大正11年(1922年)、陸軍航空第5大隊が移転してきた時に始まり、米軍の駐留を経て、昭和58年(1983年)に現在の駐屯地が落成。部隊が移転してきて以来、新しい歴史を刻んでいる。現在はヘリコプターを保有する東部方面航空隊ほか9個の部隊が駐屯。1200mの滑走路を持つ「立川飛行場」からは、陸上自衛隊の航空機や、隣接する警視庁及び東京消防庁の航空機も地域の防災活動のために飛び立っている。



災害救助行動展示

この人この店 (74)

仏蘭西厨房 TsuKuShi

波多野 智さん

http://ameblo.jp/tachikawatsukushi/



以前は若葉町ケヤキモール近くにお店がありました。同じ若葉町ですが住宅街の中に移転してもうすぐ2年。普通のおうちのような温かさと、手頃なお値段がうれしいフレンチレストラン。ランチでもディナーと同じメイン料理がいただけます。煮たり蒸したり焼いたり調理方法もさまざまで、素材の持ち味を存分に引き出して、さらにきれいな盛りつけで目にも舌にも感動が。いただいたサラダは「キャロットラペ」。フレンチの定番サラダ。アレンジしておしゃれっぽくなっていました。2種類のドレッシングで、見た目もきれい。メインは「骨付仔牛のロースト」。バジルソースで、ごぼうのチップの付け合わせ。ラムはよく見かけますが、骨付仔牛は珍しい。柔らかいピンク色のお肉がとっても上品。ロングウインナもアクセントになっていて、付け合わせのサツマイモのクリーム煮がまたおいしい！デザートは季節感満載のスイーツ。おいしいうございました。



〒190-0001 立川市若葉町 3-64-9 ●TEL 042-534-5592 ●定休日 毎週月曜日のディナー、毎週火曜日 ●営業時間など詳細は、多摩てばこネット(お店のコーナー)にてご確認ください。



表紙の人

中島満喜子さん(若葉町)

立川駅北口近く、デパートやシネコン、オフィスビルなどが並ぶファール立川。ここには公共スペースの車止めやベンチ、ビル排気口などを兼ねた109の現代アート作品群がある。まちづくりと一体になったこの公共アートを案内し、定期的な清掃活動を行っている市民ボランティア「ファール倶楽部」代表がこの方。冬の夕暮れどき、作品の前でポーズしていただくと、何だかアートの表情まで和んで見える。

ファール立川で 写真:細江英公

えくてびあんの輪

えくてびあんのリストのお店にいつもあります。今月は柴崎町・富士見町のお店です。

- 柴崎町 矢沢 歯科 眼科 525-6600 手作りケーキ ラ・フランス・シュクレ 525-3513 株式会社 京王ストア立川店 540-1131 武本 測量株式会社 524-5503 サーフショップ Waioli 522-7331 NPO法人 東京 賢治の学校 523-7112 富士見町 株式会社 浅見 酒店 522-2823 伊藤 接骨院 524-7861 カットハウス ひまわり 523-8619 手作りケーキの店 プティ・パニエ 529-8364 さえき 西立食品館 529-5333 (株) ヤマダ 電機 526-1099 株式会社 ダイクマ 立川店 526-1046 井上レディスクリニック 529-0111 中華レストラン 東華園 529-0458 榎本 調剤薬局 526-2322 有料老人ホーム サンビナス立川 8-8-6-6 飯塚 花店 522-5684 一如社グループ エスパス21 527-0370 うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054 一級建築士事務所 株式会社ホーミー 522-2220 カフェ・貸しホール ばくだん畑 522-2214

jorakugajo

真如苑提供番組<常楽我浄>

スカイパーフェクトTV 216ch マイ・テレビアナログ 11ch デジタル 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp



・『えくてびあん』を読むのは？

毎号  ときどき  目についたとき  初めて

・『えくてびあん』を入手する場所は決まっていますか？

決まっている  決まっていない

決まっている方は、店名等を教えてください。( )

・えくてびあんを置いてほしい場所、地域はありますか？

ある  特にない

ある方は、店名、町名等教えてください。( )

・リニューアル後のご感想はいかがですか？

良くなった  前の方がよかった  どちらともいえない

気がつかなかった

・本号（または最近の号）で面白かった記事はありますか？

ある  ない

ある方は、どの記事か教えてください。( )

・これから取り上げてほしい話題、分野などがありますか？

※複数回答可

お店情報  イベント情報  アート  音楽  自然  料理

教育・子育て  スポーツ  歴史  文学  科学

その他具体的に( )

・えくてびあんのWEBサイト『多摩てばこネット』をご存じですか？

よく見る  たまに見る  見たことがない  知らなかった

・あなたの年齢、性別

10代  20代  30代  40代  50代

60代  70代以上  男性  女性

## 読者アンケートにご協力ください

いつも月刊『えくてびあん』をご愛読いただき、ありがとうございます。

立川の話題や人を紹介してきた『えくてびあん』は、おかげさまで25周年を迎えました。本年8月号からは、新企画とともにデザイン等リニューアルしました。ご感想はいかがでしょうか？

今後、さらに誌面の充実を図っていくために、読者の皆様のご意見を誌面づくりの参考にさせていただきたいと願っております。

恐れ入りますが、左記アンケート（切り取るとハガキになります）にご記入の上、裏面に50円切手を貼りご返送ください。

ご回答いただきました方には、ささやかながらお礼の品をお送りしますので、ご希望の方はご住所、お名前をご記入ください。

恐れ入りますが1月末までに到着するようご投函ください。

えくてびあん